

福岡県

定数：15名

立候補者数：17名



氏名 音地 亮

都道府県士会 福岡県

年齢 40

勤務先名称 北九州市立医療センター



氏名 松崎 哲治

都道府県士会 福岡県

年齢 56

勤務先名称 夫婦石病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

2017～現在	日本理学療法士協会（協会）	代議員
2015～2016年	福岡県理学療法士会（県士会）	部長（学会部）
2017～2018年	同上	理事（学会部）
2019～現在	同上	部長（学術誌編集部）
2021～現在	日本がん・リンパ腫腫理学療法学会	評議員
2022～現在	同上	ガイドライン作成委員

今回4期目の立候補となります音地亮（おんじまこと）と申します。
 2025年問題も間近に迫り、この業界は更なる変革の時期にきています。学会連合の発足、新生涯学習制度ならびに臨床実習指導者の指定規則変更など近年の取り組みに対して、効果判定する時期でもあります。協会長が提言されているネクスト10（今後10年間のPTを取り巻く環境変化とPTがとるべき対応）を常に意識し、自ら情報を取捨選択して自分自身の立場を守っていくための行動をとる必要があります。そういった変化に柔軟に対応できるようにすべく、協会と県士会も足並みを揃えるための情報・意識の共有が大事になります。
 現在組織率の低下が危惧されておりますが、会員一人一人が自分事として捉えると同時に、関心を持つこと（持ってもらうための行動・取り組み）が重要だと考えます。私は代議員として得た情報や知見、協会の今後の方針等を県士会・会員と情報共有し、行動に繋げていくことが福岡県全体としての組織力向上・個人の質の向上になると考えています。
 微力ではありますが、そういった様々な取り組みの一端を担いたく立候補させて頂きます。ご支援のほど、宜しくお願い致します。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

平成17年4月	福岡県理学療法士会	福岡支部	福岡1地区部長就任
平成21年4月	福岡県理学療法士会	福岡支部	支部長就任
平成23年	専門領域研究部会	神経理学療法研究部会	部員就任
平成25年4月	福岡県理学療法士会		理事就任
平成25年6月	福岡県理学療法士会		理事 支部部長就任
平成25年12月	日本神経理学療法学会		運営幹事就任
平成26年4月	日本理学療法士協会		代議員 就任
平成27年6月	福岡県理学療法士会		理事 社会局長就任・地域包括ケアシステム推進委員会委員長就任
平成29年6月	福岡県理学療法士会		理事 地域包括ケア推進局長就任
令和元年6月	日本小児理学療法学会		運営幹事就任
令和元年6月	福岡県理学療法士会		副会長就任
令和3年6月	日本小児理学療法学会		監事就任
令和4年6月	日本小児理学療法学会		理事就任

福岡県の活動としまして、長きに渡り運営委員としてかわり、その後地区部長・支部長・支部局長・社会局長・地域包括ケア推進局長を経て、現在、公益社団法人福岡県理学療法士会において副会長を務めております。
 そして、これまで日本神経理学療法学会運営幹事を8年・日本小児理学療法学会運営幹事・監事を3年務め、現在日本小児理学療法学会理事に就任しております。
 そして、代議員も5期勤めております。
 これらの経験を生かし今後も代議員として日本理学療法士協会に携わり、更なる理学療法の質の向上に努めてまいりたいと思い、立候補いたします。
 よろしく願いいたします。



氏名 玉利 誠

都道府県士会 福岡県

年齢 48

勤務先名称 令和健康科学大学



氏名 久保田 勝徳

都道府県士会 福岡県

年齢 34

勤務先名称 桜十字福岡病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

平成20年 第43回日本理学療法学会学術大会 準備委員
 平成27年 第12回日本神経理学療法学会学術集会 準備委員長
 平成29年 日本神経理学療法学会 運営幹事
 平成30年 日本理学療法士協会 代議員
 令和01年 福岡県理学療法士会 学術局 学術研修部 部長
 令和02年 福岡県理学療法士会 代議員
 令和03年 日本神経理学療法学会 理事
 令和03年 福岡県理学療法士会 学術局 学会部 部長
 令和03年 第4回日本神経理学療法学会SIG参加型フォーラム 集会長
 令和03年 第30回福岡県理学療法士学会 学会長
 令和06年 第22回日本神経理学療法学会学術大会 大会長

私はこれまで代議員を3期6年務めさせて頂きました。その間、代議員は福岡県理学療法士会会員の皆様により選出された代弁者であるという意識のもと、周囲の会員の意見を聴取し、定時総会における様々な議案について投票を行うとともに、様々な情報を還元できるよう努めて参りました。

近未来の医療・介護の課題を解決していくためには、会員と日本理学療法士協会が協働し、高度かつ個別最適な理学療法を確立していく必要があると思います。また、そのためにも、会員と日本理学療法士協会の架け橋となる代議員の役割はますます重要になると考えます。

会員、患者、社会にとって、より良い医療が提供される環境整備に努めるべく、引き続き立候補いたしました。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会・士会役員歴】
 平成29年 福岡県理学療法士会 代議員（～平成31年）
 平成29年 福岡県理学療法士会 部長（福岡支部学術担当）（～令和1年）
 令和1年 福岡県理学療法士会 理事（学術研修部）（～令和3年）
 令和3年 福岡県理学療法士会 理事（学会部）（～令和5年）
 令和3年 第4回日本神経理学療法学会SIG参加型フォーラム 準備委員長
 令和3年 九州理学療法士学術大会2022 in 福岡 学術局企画部部長
 令和3年 日本支援工学理学療法学会 広報委員（現在に至る）
 令和4年 日本理学療法士協会 代議員（現在に至る）
 令和4年 日本神経理学療法士学会 評議員（現在に至る）
 令和5年 福岡県理学療法士会 理事（学会部・学術誌編集部）（現在に至る）
 令和5年 第22回日本神経理学療法学会学術大会 運営局長（現在に至る）

【立候補の趣旨】
 私は、2021年度から日本理学療法士協会の代議員に就任させて頂き、その間、定時総会への参加や、協会から発信される情報を収集し、県士会事業に反映することに注力して参りました。特に、新型コロナウイルス感染対策のため対面研修への参加が困難となった会員や、子育て世代の会員が自宅にて生涯学習を継続できるよう、研修会や学会事業のオンライン化を推進し、生涯学習の機会の拡大と学術水準の向上に努めて参りました。一方、様々なところから情報を収集することができる昨今、協会や県士会に求められるものは多様化しています。そのため、時代のニーズにあった生涯学習を形作っていくためにも、協会と県士会のパイプ役となる代議員の役割は重要と考えます。

私自身、これまでの経験を活かして会員皆様の活躍を協会に届けるべく、前期に引き続き代議員に立候補いたしました。どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。



氏名 善明 雄太

都道府県士会 福岡県

年齢 36

勤務先名称 小倉リハビリテーション学院



氏名 遠藤 正英

都道府県士会 福岡県

年齢 41

勤務先名称 桜十字福岡病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

2017年～2019年：福岡県理学療法士会 北九州1地区 社会局担当
 2019年～2020年：福岡県理学療法士会 選挙管理委員 副委員長
 2019年～2021年：福岡県理学療法士会 学術局学会企画部 部長
 2021年～現在：福岡県理学療法士会 理事
 日本理学療法教育学会 評議員
 2022年～現在：日本理学療法士協会代議員、常勤役員要件審査委員会
 2023年～現在：理学療法教育 編集委員
 第104回・第105福岡県理学療法士会学術研修大会 大会長

この度、立候補いたしました善明雄太と申します。
 会員の皆様のお力添えにより理事や代議員等をさせていただき、感謝しています。
 そのなかで、会員の皆様のために改善すべきことに気付くことができました。
 現在は会員の声を反映できず、PTの水準を上げる環境や制度の整備が不十分です。
 物価高で大変ななか会費を払っていただいている会員の皆様に、
 1つでも多くのメリットを感じれる協会になるように私は声をあげていきます。
 代議員に就任できた際には、以下のことを実現していきたいと考えております。

- ・会員の声を届ける
- ・専門資格等を取得しているモチベーションが高い会員に対する活躍場面の提供
- ・住んでいる場所、家庭環境の影響を大きく受けることなく研修会受講、認定等の資格取得が出来るための促し
- ・会員が研修会講師、学会・論文査読や座長等が出来るシステム作りへの促し

これらを実現するために大学院、今までの仕事や活動で学んだことを活かしていきます。
 若い理学療法士がこれからも続けたいと思える業界や組織にしていくべきです。
 若輩者ではありませんが、会員のための理学療法士協会になるように精進していきます。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

2015.4～2017.4 福岡県理学療法士会 学会部 担当部長
 2018.4～2020.5 日本理学療法士協会 代議員
 2019.6～2020.6 日本理学療法士協会 公的保険領域検討小委員会 委員
 2019.6～2021.3 日本理学療法士協会 新人研修プログラム検討委員会 委員
 2020.6～2021.3 日本理学療法士協会 新型コロナウイルス感染症対策本部 理学療法業務診療報酬等担当委員
 2021.4～2022.3 日本理学療法士協会 実地研修教材検討委員会 委員

2017.6～ 日本理学療法士学会 分科学会 運営幹事（日本支援工学理学療法学会）
 現日本支援工学理学療法学会 理事

2017.6～ 福岡県理学療法士会 理事
 2022.9～ 日本理学療法士協会 生活環境支援分野問題作成部会 部会員
 2023.8～ 日本理学療法士協会 理学療法士版EPOC検討委員会 委員
 2023.6～ 日本理学療法士協会 専門理学療法士（支援工学）口頭試問試験官
 2023.6～ 福岡県理学療法士会 副会長

医療、介護、障害福祉サービスのトリプル改定、有資格者の増加など我々を取り巻く環境は大きく変化しています。現在の職域、待遇などを守りながら、さらなる改善、拡大を図る必要があると感じています。そのためには日本理学療法士協会が中心となり、都道府県私学療法士会が積極的に動いていく必要があります。日本理学療法士協会が正しい動きをするために、福岡県の会員の皆様の代表して会員の皆様の声を届けることができればと思っております。



氏名 西浦 健蔵

都道府県士会 福岡県

年齢 53

勤務先名称 甘木中央病院



氏名 永野 忍

都道府県士会 福岡県

年齢 48

勤務先名称 九州医療スポーツ専門学校

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

(福岡県理学療法士会役員 略歴)
 2005年4月 筑後1地区部長 2007年4月 筑後支部長
 2009年4月 支部担当理事 2011年4月 支部担当理事
 2013年6月 総務局長 2015年6月 会長(現在至る)

(日本理学療法士協会役員 略歴)
 2014年6月～代議員(現在に至る)

(立候補の趣旨) 私はこの度、代議員に立候補させていただきました西浦健蔵です。理学療法士が社会・地域から選ばれる職種となるために、福岡県理学療法士会と全国の都道府県理学療法士会ならびに日本理学療法士協会が、これまでの実績に自信を持ち、あらゆる保健・医療・福祉分野における理学療法士のさらなる発展のため、今まで以上に連携し結束する必要性あると思います。日々研鑽を積み理学療法士の社会的地位の向上のために、約19年間の福岡県理学療法士会役員を経験を活かし、代議員として連携と結束に精一杯務めさせていただきたいと考えております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

昨今、日本理学療法士協会(協会)の会員の組織率の低下が課題となっています。1994年度には91%であった協会の組織率は2023年3月では約64%となっており、毎年度約1万人の理学療法士が誕生するのに対し、2021年から遡る5年間の会員の合計増加数は19,516人です(白書2022)。一方会員の平均年齢は、2010年の男性33.2歳、女性31.3歳から上昇が続き2021年では男性35.2歳、女性34.3歳となっています。このことから男性も女性も若い理学療法士の新規入会者数の減少が考えられます。したがって会員構成の変化を鋭敏に捉えた組織率増加の対策を検討していく必要があると考えます。私は女性理学療法士の就労支援を目的に2011年度より約13年間代議員という立場から様々なことを発信して参りました。その間、所属する福岡県においては2015年度「福岡県女性理学療法士の課題を考える委員会」の委員長を務め、2017年度から福岡県士会組織部内のワーク・ライフ・バランス部にて学会や研修会での託児サービスの提供を通して会員サポートに尽力して参りました。2021年度からは総務局長として福岡県士会全体の事業運営の進展に携わり、2022年度には福岡県士会会員へのヒアリング調査を実施し休会者・退会者の傾向について情報収集を行いました。その後2023年度からはもっと会員の声に耳も身体も傾けたく、北九州支部理事を拝命し部長や運営委員とともに県民・市民はもとより会員に寄り添う事業展開を実施しています。私はこれまでの経験と実績そして福岡県士会の現状を踏まえて協会の組織率に対する課題に取り組む所存です。

2011年度 日本理学療法士協会 代議員
 2013年度 福岡県理学療法士会 北九州支部総務・財務担当部長
 2015年度 福岡県理学療法士会 福岡県女性理学療法士の課題を考える委員会委員長
 2017年度 福岡県理学療法士会 理事(組織部)
 2021年度 福岡県理学療法士会 理事(総務局長), 日本理学療法教育学会評議員
 2022年度 日本ウイメンズヘルス・メンズヘルス理学療法研究会評議員
 2023年度 福岡県理学療法士会 理事(北九州支部総務・財務担当)



氏名 沖原 優子

都道府県士会 福岡県

年齢 42

勤務先名称 桜十字福岡病院



氏名 鈴木 裕也

都道府県士会 福岡県

年齢 41

勤務先名称 製鉄記念八幡病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【役員歴】
協会／代議員（2020～）、令和4・6年度診療報酬改定検討会構成員、新入会促進検討部会構成員
県士会／理事（2021～）

【立候補趣旨】
私は、理学療法の発展と理学療法士の職能向上を目指し、日本理学療法士協会代議員に立候補致します。
理学療法は、従来の分野だけでなく、予防や教育など、様々な領域や場所で求められるようになりまし。しかし、現場と制度の間には未だ相違が存在するため、この課題に取り組むべく、協会に現場の意見を届け、理学療法の更なる発展に努めます。
また、協会会員の中には、ライフイベントや環境の変化により理学療法士としての就労継続が困難な状況にある方々が多く存在します。職場環境や制度改善に取り組むことで、理学療法士としてのキャリアを継続し、理学療法の質の向上とより良い理学療法の提供を目指します。
これらの取り組みを通じて、理学療法と協会の発展に貢献したいと考え、立候補致します。何卒宜しくお願い致します。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【協会・士会役員歴】
令和2年～日本理学療法士協会福岡県代議員
平成31年～日本栄養・嚥下理学療法学会理事 現副理事長

【立候補趣旨】
私は、令和2年から2期4年に渡り福岡県の代議員として、福岡県のPTの皆様の意見を日本理学療法士協会に届けるために活動してきました。また現在は、日本栄養・嚥下理学療法学会の副理事長として学会組織の運営にも携わっており、微力ながら皆様の日々の臨床に役立つように活動させていただいております。近年、理学療法士の供給過剰と言われ、理学療法士免許を取得したにも関わらず理学療法士として働かず転職する人も増えてきました。一度考えてみてください、理学療法士は魅力のない職業なのでしょうか？理学療法士として働く意味は何でしょうか？そのような理学療法士としての本質を問う「価値」について再度考え、我々が存在する意義やその価値を国民に示していく重要な時期にきていると感じます。理学療法士が国民に存在価値を見出せる場は、何も診療報酬の場だけではありません。巨大な市場のヘルスケア分野・中には一般企業で活躍する理学療法士もいます。どの場でも活躍する理学療法士は皆仲間です。このような働き方が多様化する中で、理学療法士がもっと輝ける場を皆様と共に考え、理学療法士としての存在価値を国民にアピールできる場をもっと増やすための進言を日本理学療法士協会に届ける役割を担いたいと思立候補いたします。



氏名 近藤 直樹

都道府県士会 福岡県

年齢 49

勤務先名称 福岡県理学療法士会



氏名 廣滋 恵一

都道府県士会 福岡県

年齢 51

勤務先名称 九州栄養福祉大学リハビリテーション学部

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

平成19～20年度 (社)福岡県理学療法士会 北九州1地区部長
 平成20～24年度 (社)福岡県理学療法士会 北九州支部長
 平成25～26年度 (公社)福岡県理学療法士会 理事 (支部担当、総務部担当)
 平成27年度～令和4年度 (公社)福岡県理学療法士会 理事・事務局長
 令和5年度～ (公社)福岡県理学療法士会 専務理事
 平成28年度～ (公社)日本理学療法士協会 代議員

昨今、理学療法士の活動領域は医療分野だけでなく、地域支援、産業保健、学校保健、スポーツ、災害支援活動など更なる拡がりを見せており、国をはじめ各団体が理学療法士に対する期待やその役割について注視しています。そのため、その期待や要請に即応できる体制を構築し、我々理学療法士の存在価値をアピールしていくことが重要となります。現在、福岡県理学療法士会にて専務理事を拝命しておりますが、これからも日本理学療法士協会と福岡県理学療法士会の今後の進展と発展の一翼を担えるよう尽力する次第であります。どうぞご支援のほどよろしくお願いいたします。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

私は、日本理学療法士協会会員として、また、福岡県理学療法士会会員として、長年にわたり団体の発展に微力ながら尽力して参りました。理学療法士としての約30年間に、急速な会員数の増加、学会の発展、職能領域の拡大など多くの方の努力によって現在に至っていることを目にしてきました。しかし、その一方で、良くも悪くも理学療法士の価値観は多様となり、学術・職能団体としての組織目標も拡散しているように感じます。我が国の人口減少や高齢社会において、保健医療福祉体制に理学療法士は必要不可欠な存在であり、築かれたこの信頼の位置づけは持続させていかなければなりません。そのような気概をもって4年ぶりに代議員として活動して参りたいと思ひ立候補いたしました。ご支援のほどよろしくお願いいたします。

平成19年度～現在 福岡県理学療法士会理事 (9期17年目) 現 副会長
 平成26年度～令和元年度 日本理学療法士協会 代議員 (6年)
 平成28年度～29年度 日本理学療法士協会 組織・規則等WG委員
 令和元年度～3年度 日本理学療法士協会 臨床実習の手引作成委員会 委員長
 令和4年度～現在 日本理学療法士協会 指定規則等検討部会 部会員



氏名 齊藤 貴文

都道府県士会 福岡県

年齢 44

勤務先名称 令和健康科学大学



氏名 吉田 純一

都道府県士会 福岡県

年齢 38

勤務先名称 福岡青洲会病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

平成20年～25年	(社) 福岡県理学療法士会	福岡1地区運営委員
平成25年～31年	(社) 福岡県理学療法士会	福岡1地区部長
平成29年～令和3年	(社) 福岡県理学療法士会	代議員
令和2年～令和4年	(社) 日本理学療法士協会	代議員
令和5年～現在	(社) 福岡県理学療法士会	福岡支部理事

かつて、これほどまでに理学療法士に専門的かつ学際的な資質・能力が求められたことはあったでしょうか？超高齢社会による疾病構造の変化と健康長寿への期待の高まりから、医療者には領域横断的な生物心理社会的視点による病態解釈および要因の因果性を推定する科学的思考能力が求められ、かつ先端技術を駆使した新たな治療戦略および多様性のある共生社会・健康長寿社会の実現に向けた小児期から高齢期に至るライフコースでの一貫した地域予防医療を実現し、社会全体の医療費削減に貢献することが期待されています。また、理学療法士自身のキャリアデザインにも多様性が尊重され、かつてのような働き方が見直される中で、理学療法の効果を求められる現状にあります。

このような急速に変化していく社会の中で、個々の理学療法士はどのように自身の生活を守りながら、自己研鑽する日々を送り、自身が満足して活躍できる環境を探し求めればよいのでしょうか？日々の課題が積み重なる中、個人の努力だけでは限界があります。そのような時代における理学療法士協会の役割は、これまで以上に重要であり、厳しい目が向けられるようになると思います。今後の理学療法士協会がどのような方向に進むべきか、どのような議論がされているのか、会員を代表する代議員一人一人の意識を高める必要があると感じています。

そのような経験と思いから、今回、会員を代表して協会に意見を届けられるよう、代議員として立候補することにしました。どうぞよろしくお願いたします。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

【福岡県理学療法士会役員歴】

2015年～2016年	福岡支部社会職能担当部長
2017年～2018年	学術局学会部部長
2019年～2020年	学会部担当理事
2021年～現在	学術局教育研修部部長

【立候補の趣旨】

この度、日本理学療法士協会代議員選挙に立候補しました吉田と申します。ライフスタイルの多様化により、セラピスト自身の仕事に対する価値観や職場の労務環境など理学療法士を取り巻く社会環境は大きく変化してきています。数十年前までは理学療法士として日本理学療法士協会（以下JPTA）および都道府県士会に入会することが必然的だったことが、今では組織に加入することでどんなメリットがあるのかを考えた上で入会する形へ変容しています。これはJPTAだけでなく他のどのような組織にも言えることではあるかと思えます。この流れは決して悪いことではなく、組織としての意味や価値を考える上では必要な流れかと考えます。これから年間1万人以上の理学療法士が誕生することが予想されます。その未来あるセラピストや今いる非会員の理学療法士がJPTAに入会したい！入会しなければならぬ！と思えるよう、現会員や非会員の意見を聴取し、執行部へお伝えしていきたいと考えております。

まだまだ私自身未熟ではありますが、どうかご支援の程宜しくお願い致します。



氏名 松垣 竜太郎

都道府県士会 福岡県

年齢 35

勤務先名称 産業医科大学



氏名 諫武 稔

都道府県士会 福岡県

年齢 53

勤務先名称 福岡青洲会病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

協会・士会役員歴：

公益社団法人日本理学療法士協会代議員（2020-2022年）

日本予防理学療法学会評議員（2020年-現在）

公益社団法人福岡県理学療法士会理事（2019-2023年）

立候補の趣旨：

産業医科大学の松垣竜太郎と申します。

私は昨年まで福岡県理学療法士会の総務部理事として会員に対するヒアリング調査、会員動向等の調査・分析を行なっていました。その中で、新卒者の未入会率、及び、若手会員の退会率の増加の状況を把握するに至りました。この問題につきましては、福岡県理学療法士会としても向き合うべき課題である一方で、日本理学療法士協会としても向き合わなければならない課題であると考えています。また、この課題と向き合うにあたっては新卒者や子育て世代など、若い世代の声を届けることが重要だと考えております。微力ながらもその役割の一部を担えればと考えてましてこの度、日本理学療法士協会の代議員に立候補させていただきました。

どうぞよろしくお願いたします。

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

協会・士会役員歴

平成6年度～平成12年度 福岡県理学療法士会福岡東地区運営委員

平成13年度～平成15年度 福岡県理学療法士会福岡東地区部長

平成19年度～平成20年度 福岡県理学療法士会福岡支部長

平成23年度～平成26年度 福岡県理学療法士会理事（財務担当理事）

平成27年度～平成28年度 （公社）福岡県理学療法士会理事（総務局長）

平成29年度～平成30年度 （公社）福岡県理学療法士会理事

（総務担当理事・財務担当理事）

令和元年度～ （公社）福岡県理学療法士会理事（副会長）

平成24年度～ （公社）日本理学療法士協会代議員

立候補の趣旨

日本は2040年を見据え、誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現を目指して健康寿命の延伸や、医療・福祉改革など様々な改革を行っています。それに伴い私たち理学療法士の置かれている環境は、大きな転換期を迎えていると思います。このような時代だからこそ環境変化に対応し、先手・先行で「革新」することが重要となってくると考えます。存続志向型ではなく、未来志向型で常に新しい理学療法士の働き方や研鑽の積み方を確立するためにも現状を受け入れ柔軟に変わり続けることが必要と考えます。自身の描いたキャリアパスを実現するためにも様々な分野で働く理学療法士一人ひとりが、個々に目標を持ち、何事にもチャレンジし、理学療法士としての仕事の選択肢を広げ個々の可能性を最大限引き出せる仕組みと環境作りを実現させたいと考えています。みなさんが理学療法士として仕事を楽しみ、やりがいを持ち続け、仕事ができるよう日々取り組んでまいります。宜しくお願いたします。



氏名 山内 康太

都道府県士会 福岡県

年齢 41

勤務先名称 製鉄記念八幡病院

協会・士会役員歴／立候補の趣旨

2009年 北九州2地区運営委員
2013年 北九州2地区部長
2016年 日本理学療法士協会 代議員
2017～2023年 福岡県理学療法士会 理事
2018年 日本理学療法士協会 呼吸理学療法 システマティックレビュー 委員

私は2016年度から日本理学療法士協会代議員に就任させて頂きました。代議員の職務として協会と会員の架け橋となるよう会員の声を協会に伝えてきました。同時に、協会の方針を理解・把握し、県士会事業に効果的に反映できるよう取り組んでまいりました。近年、急速に進化するICT技術により学習方法の多様化や最新の知見に関する情報収集が容易になりました。この変化は生涯学習システムでも一部反映されていますが、一方で、情報が溢れかえる中で正確かつ適切に情報を整理し、必要な情報を選択する能力がますます求められています。つまり、研修会は座学の知識の教授だけでなく、適応されるための思考過程も含め学ぶ必要があり、さらなる改変が望まれます。これは理学療法の臨床や研修に限らず、医療社会情勢なども同様であり、会員の意見を尊重しながら変化する情勢に対し、適切な対策を講じるためには重要な作業となります。そのため協会―県士会―会員の三者が連携し、相互に情報・目標を共有することが重要となります。これにより協会の事業がより効果的かつ持続可能なものとなり、本邦における理学療法の発展に寄与し、その結果、会員へ還元されることになると期待されます。

しかしながら会員の価値観が多様化する中で、協会および県士会の帰属意識の希薄化は悪化傾向にあり、大きな問題となっています。この問題に対処するために、代議員に立候補し、会員の皆様からの意見を集約し、協会の事業に具体的に反映させることを目指しています。さらに協会と県士会の方針の整合性を確認し、両会の事業の推進に尽力してまいります。

皆様方のご支援をお願い申し上げます。